※令和３年度以前入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	「世界史Ａ　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	ダイアローグ世界史図表　新版四訂　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学習することに興味関心をもつ。
・歴史的事象に「なぜ」の視点をもつ。
・現在の日本や世界で起こっている事象が、歴史とどう関わっているかを考える。

２　学習の到達目標

・現在の諸課題を近現代史との結びつきを理解し、歴史的観点から考察する力を身に付ける。
・世界史を地理や日本史との関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる力を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及する。	現代の国際的な諸課題について歴史的観点から考察し、その過程や結果を適切に判断・表現している。	歴史に関する資料などを用い、有用な情報を選択し図表などにまとめる。	世界の歴史についての基本的な事柄を日本の歴史と関連付けながら知識を身に付け理解する。
評価方法	・レポート課題 ・授業に取り組む姿勢 ・課題への取組状況	・定期考査(論述問題) ・授業での発言・発表 ・課題の成果	・定期考査 ・レポート課題 ・課題への取組状況	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期（後期）	一体化に向かう世界	・大航海時代 ・ラテンアメリカの変化	○	○	○	○	a:ポルトガルやスペインの海外進出やラテンアメリカの変動を意欲的に追究している。 b:ポルトガルやスペインの海外進出やラテンアメリカの変動について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:ポルトガルやスペインの海外進出やラテンアメリカの変動に関する資料を収集し、適切に活用している。 d:ポルトガルやスペインの海外進出やラテンアメリカの変動などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・ルネサンス ・宗教改革	○	○	○	○	a:ルネサンスや宗教改革の展開を意欲的に追究している。 b:ローマ教会に対抗するルネサンスの活動や宗教改革の展開について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:ルネサンス時代の科学や文芸活動、宗教改革の展開に関する資料を収集し、適切に活用している。 d:ルネサンスや宗教改革の展開などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・スペインとオランダの繁栄 ・イギリス革命とフランス絶対主義 ・三十年戦争と東ヨーロッパの発展 ・17～18 世紀のヨーロッパ文化	○	○	○	○	a:17～18 世紀のヨーロッパ諸国における絶対主義の特徴を意欲的に追究している。 b:主権国家体制の成立について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:17～18 世紀のヨーロッパ諸国における絶対主義や主権国家体制の成立に関する資料を収集し、適切に活用している。 d:17～18 世紀のヨーロッパ諸国における絶対主義や主権国家体制の成立などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	アジアの繁栄と世界	・イスラーム世界の繁栄 ・オスマン帝国の成立 ・明と東アジア ・東南アジアの海域世界と東アジア ・清と東アジア	○	○	○	○	a:14～18 世紀のアジアと世界の動向を意欲的に追究している。 b:14～18 世紀の中国とイスラーム諸国家の統治体制や宗教政策、外交について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:東南アジア海域世界と日本を含めた諸地域とのつながりに関する資料を収集し、適切に活用している。 d:14～18 世紀のアジアと世界の動向などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・植民地争奪戦と大西洋交易圏の成立 ・アジアとヨーロッパ	○	○	○	○	a:世界経済体制の成立を意欲的に追究している。 b:大西洋交易圏について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:アジアとヨーロッパの交易に関する資料を収集し、適切に活用している。 d:世界経済体制の成立などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
	19 世紀の世界の一体化と日本	・産業革命 ・資本主義社会の成立	○	○	○	○	a:イギリス産業革命の背景と展開、資本主義社会の成立を意欲的に追究している。（授業態度） b:イギリス産業革命による社会変化について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:「世界の工場」となったイギリスに関する資料を収集し、適切に活用している。 d:イギリス産　業革命の背景と展開、資本主義社会の成立などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・アメリカ独立戦争	○	○	○	○	a:アメリカ独立戦争の背景や展開を意欲的に追究している。 b:アメリカ独立戦争の背景や展開、歴史的意義について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:アメリカ独立戦争の背景や展開に関する資料を収集し、適切に活用している。 d:アメリカ独立戦争の背景や展開を理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・フランス革命の勃発と展開 ・フランス革命の終結と意義 ・ナポレオン戦争	○	○	○	○	a:フランス革命の背景や展開を意欲的に追究している。 b:フランス革命を推進した諸階級の動向について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:フランス革命の背景や展開、ナポレオンに関する資料を収集し、適切に活用している。 d:フランス革命の背景や展開などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

		・ウィーン体制 ・ハイチとラテンアメリカの独立	○	○	○	○	a:ウィーン体制とその崩壊について意欲的に追究している。 b:自由主義とナショナリズムの運動について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:自由主義とナショナリズムに関する資料を収集し、適切に活用している。 d:ウィーン体制とその崩壊について理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・イギリスの自由主義改革と社会主義思想の登場 ・1848 年革命とイタリアとドイツの統一 ・フランスの動向とロシアの改革 ・アメリカ合衆国の発展 ・帝国主義の時代へ	○	○	○	○	a:19 世紀後半のヨーロッパ列強および 19 世紀のアメリカ合衆国の資本主義経済発展と勢力拡大を意欲的に追究している。 b:帝国主義と社会主義について考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:帝国主義時代に関する資料を収集し、適切に活用している。 d:19 世紀後半のヨーロッパ列強および 19 世紀のアメリカ合衆国の資本主義経済発展と勢力拡大などを理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・イスラーム世界の危機と対応 ・インドの植民地化と抵抗運動 ・東南アジアの植民地化 ・アメリカ大陸の動き ・アフリカと太平洋の分割	○	○	○	○	a:帝国主義時代のアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動を意欲的に追究している。 b:帝国主義時代のアジア・アフリカ・ラテンアメリカについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:帝国主義列強の植民地支配とそれに対する抵抗運動に関する資料を収集し、適切に活用している。 d:帝国主義時代のアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変動を理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査
		・アヘン戦争の衝撃 ・日本の近代化と東アジア ・日露戦争前後の東アジア ・辛亥革命と東アジア	○	○	○	○	a:東アジアの変容と日本の近代化を意欲的に追究している。 b:中国と日本の近代化への取り組みについて考察し、判断した過程や結果を適切に表現している。 c:中国と日本の近代化への取り組みに関する資料を収集し、適切に活用している。 d:東アジアの変容と日本の近代化を理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。